

令和 6 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 7 年 3 月 21 日(金)開催分

< 開催時間 > 14:00~14:40

< 会 場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > 上下水道事業管理者の任命
令和7年定期人事異動

< 出 席 者 > 市長、総務部長、市長公室長、職員課長

< 質疑応答 >

【記者】

上下水道事業管理者の任命についてお伺いします。前管理者が書類送検され、任期満了で退任されたため、市長が暫定的に兼務されていましたが、今回新たに管理者を置くに至った理由を教えてください。

【市長】

暫定的に私が兼務していましたが、組織の正常な運営と私の任期満了を考慮し、今回新たな管理者を任命することにしました。

【記者】

やむを得ず暫定的に兼務されていたとのことですが、前管理者の再任が叶わなかった理由として、書類送検中で検察の判断がなかったからということでしょうか。

【市長】

検察の結論が出るまで待っていましたが、結果的に結論が出なかったため、私が兼務することになりました。

【記者】

8月から3月までの兼務期間中、前管理者へ再任の働きかけはしましたか。

【市長】

全くしていません。

【記者】

埼玉の陥没事故を受け、福井市でも緊急点検が行われたとのことですが、その結果と今後の対応について教えてください。

【市長】

福井市では、現在、緊急点検と調査を実施しています。一部修繕が必要な箇所が見つかりましたが、すでに修繕は完了しています。また、人が立ち入れない箇所についてはカメラを用いて調査を行っています。調査が完了した後は、国に報告をさせていただきます。

【記者】

今回の異動人数は 893 人と、前年より多いですが、過去最高ですか。

【職員課長】

平成 28 年度以降では最も多い異動人数です。

【記者】

平成 28 年度を基準にしているのは、市町村合併などの関係ですか。

【職員課長】

過去 10 年間という意味です。過去 10 年間で最も多い異動規模です。

【記者】

上下水道事業管理者に任命される塚谷さんは、女性で特別職として初めてですか。

【市長】

はい。福井市の特別職として初めての女性登用となります。特別職とは、副市長、企業管理者、教育長、常勤監査委員などを指し、その中で初の女性となります。

【記者】

小寺副市長が地方公務員法違反の疑いで書類送検中ですが、人事に関する対応で今後検討されていることはありますか。

【市長】

現在はありません。

【記者】

検察の判断が出た場合に、何か検討されていることはありますか。

【市長】

現時点では具体的な検討はしていません。しかし、判断が出た場合には、その状況に応じて適切な対応を検討します。私自身の道義的責任についても認識しており、必要な場合には処分も検討します。

【記者】

具体的な対応策について、現時点で言えることはありますか。

【市長】

仮定の質問にはお答えできません。しかし、将来的に何らかの判断が出た場合には、状況に応じて適切に対応します。

【職員課長】

過去 10 年間の異動者数について、以前の説明で「過去最大」と述べたが、これは誤りでした。正しくは、平成 28 年度に 1021 人という異動者数があり、これが過去 10 年間で最大です。また、平成 30 年度と 31 年度にも 900 人台の異動者数があったため、以前の発言を訂正します。

【記者】

若手中堅職員の人材育成について、環境省への新規研修派遣を発表されましたが、その目的ときっかけを教えてください。

【市長】

目的は、職員に環境行政について深く学び、知識と経験を積んでもらうことです。きっかけは、環境省から研修派遣の提案があり、職員育成の目的と合致したため、派遣を決定しました。

【記者】

研修派遣の期間はどれくらいを想定していますか。

【市長】

2 年間です。